

広域避難者支援連絡会 in 東京 2019 年度事業報告書

2020 年 6 月

広域避難者支援連絡会 in 東京

1 連絡会の概要

(1) 名 称 広域避難者支援連絡会 in 東京

(2) 設立日 2013 年 5 月 22 日

(3) 事務局 広域避難者支援連絡会 in 東京 事務局

東京ボランティア・市民活動センター 内 担当：加納、品田、神辺

〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1 TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050

ホームページ <http://kouikihinan-tokyo.jimdo.com/>

メール kouikihinan@tvac.or.jp

(4) 参加団体 14 団体。団体名は下記の通り（五十音順）。

荒川区社会福祉協議会

いたばし総合ボランティアセンター

AAR Japan[難民を助ける会]

こどもプロジェクト

金光教首都圏災害ボランティア支援機構

災害復興まちづくり支援機構

こくみん共済 coop<全労済>

中央労働金庫

東京足湯プロジェクト

東京災害ボランティアネットワーク

東京都生活協同組合連合会

東京ボランティア・市民活動センター

東京労働者福祉協議会

連合東京

2 連絡会の事業報告

(1) 総会の開催

総会を開催し、2019年度事業計画及び収支予算等について審議した。

(2) 定例会の開催

連絡会の構成団体が集まり、情報交換や企画検討を行う定例会を開催した（毎月1回開催）。

<実績>

第1回 4/11、第2回 5/16、第3回 6/13、第4回 7/11、第5回 8/8、第6回 9/12

第7回 10/10、第8回 11/14、第9回 12/12、第10回 1/9、第11回 2/13、第12回 3/12

(3) 当事者団体との協働事業

都内にある避難当事者団体同士のネットワーク作りをさらに進めるため、連携している当事者団体と協働して広域での具体的な交流プログラムを実施した。なお、この事業をすすめるにあたり、合計12回の実行委員会を開き、企画の検討を行った。

①広域交流事業

<実績>

○深秋（ほっこり）交流会

日時：2019年11月17日（日）10時20分～15時30分

場所：清澄庭園大正記念館

参加者：68人（うち避難者44人）

○避難者と支援者によるふれあいフェスティバル

新型コロナウイルスの感染拡大防止により、中止。

○実行委員会の開催

第1回 4/25、第2回 5/23、第3回 6/13、第4回 7/26、第5回 8/20、第6回 9/18、

第7回 10/17、第8回 11/7、第9回 12/9、第10回 1/23、第11回 1/23、第12回 2/26

※深秋ほっこり交流会では、福島県浪江町2名と宮城県山元町に帰還した方の話を伺い、今後の生活先について意見交換して頂く予定だったが、参加者からは「帰還施策を推進している」と趣旨を誤解される場面があった。ナイーブなテーマでもあるので、話題提供の仕方については十分な配慮や工夫が必要である。

※また、交流会の意見交換を通して、同じ福島県内の元帰還困難区域の中でも、人によって考え方にばらつきがあり、宮城県や岩手県となるとなおさらであること、また世代や避難先の状況など立場によって考え方が様々であることが分かった。

※ふれあいフェスティバルは新型コロナウイルスの感染拡大防止のためやむなく中止となった。もともと避難者が交流する機会が少なくなっている中で、非常に残念という声が多数あった。

(4) 広域避難者支援ミーティング in 東京の開催

<目的>

避難者支援団体や避難当事者団体の交流、連携を促すための情報交換の場を提供し、様々な支援手法・アイデアの共有を通して、避難者支援団体によるさらなる支援の充実・工夫を図った。

○広域避難者支援ミーティング in 関東（第19回広域避難者支援ミーティング in 東京）

日 時：2020年1月14日（火）13時00分～16時00分

場 所：全水道会館4階 大会議室

内 容：（1）広域避難者支援に関する話題提供

電話相談事業の状況について（よりそいホットライン）／避難者のネットワークづくり（さんりくのつながりHAMANASU会）／避難先地域での交流（松戸東北交流サロン 黄色いハンカチ）

（2）情報交換・意見交換

参加者：関東圏より、支援団体35名（27団体）が参加

※よりそいホットラインの電話相談から、サロンに参加していない若い世代の苦しい状況が報告され、改めて一括りにできない避難者の状況を理解することができた。

※JCNや福島県と共催で実施したことにより、関東圏域で情報共有することができ、他県の避難者の状況や避難者支援の状況が分かり、非常に参考になった。一方、参加者が少なく、情報共有ができなかった県域団体もあり課題が残った。

(5) 避難者・避難者支援についての市民への周知

連絡会参加団体等の会議やイベント等で、避難者のことを知って頂くチラシの配布、また、パネルの展示を行った。

わらび座（チラシ600枚）／金光教平和集会（パネル展示）／関東ブロック研究協議会（チラシ400枚）／孤立化防止事業連絡会（チラシ30枚）／中央労働金庫労組大会（冊子配布）／板橋区防災フェア（チラシ100枚）／東京都・多摩市合同総合防災訓練（パネル展示、チラシ配布）／首都防災ウィーク（チラシ配布）／赤坂地区防災訓練（青山中学校）／荒川福祉まつり（チラシ配布・パネル展示）／東京労働者福祉協議会 総会（チラシ配布）／「ふくしまの今を語る人」講演会（パネル展示）／板橋区役所ボランティアセンターPRブースにて（チラシ配布）／灯りのつどい（チラシ配布・パネル展示）

(6) 情報発信

①メルマガの配信

都内避難者支援団体の取組みを伝えるメルマガを配信した。

<実績>

メルマガ配信者：2019年度末117人（2013年度43人、2014年度86人、2015年度95人、2016年度末99人、2017年度末106人、2018年度末118人）

メルマガ配信回数：13回

第1回 4/11、第2回 5/14、第3回 6/12、第4回 7/18、第5回 8/15、第6回 9/24、第7回 10/11、第8回 11/29、第9回 12/20、第10回 1/22、第11回 2/14、第12回 2/21（号外）、第13回 3/18

※メルマガの内容は、地域でのサロン情報、法律相談会や就職相談会情報、コンサート等への招待情報、広域避難に関するイベント情報、原発賠償説明会等の情報、助成金情報など※月1回の頻度でメール配信を実施した。第12回はふれあいフェスティバル中止の号外として発信した。

②ホームページでの情報発信

広域避難者支援連絡会 in 東京のホームページを更新し、広域避難者支援ミーティング in 東京の告知や開催報告、広域交流会の開催報告などを行った。

(7) 勉強会の開催

定例会の開催に併せ、勉強会を実施した。

○第1回

日時：2019年5月16日（木）9時30分～10時30分

内容：他県の避難者の状況や避難者支援の状況を知る

講師：ほっと岡山（はっとり氏）、えひめ311（澤上氏）、沖縄じゃんがら会（桜井氏）

○第2回

日時：2019年7月11日（木）9時30分～10時30分

内容：都内避難者アンケート結果について

講師：東京都総務局復興支援対策部 都内避難者支援課（高田氏）

○第3回

日時：2019年9月11日（木）9時30分～10時30分

内容：自主避難、特に母子避難の課題について

講師：むさしのスマイル（岡田氏）

○第4回

日時：2019年10月10日（木）9時30分～10時30分

内容：岩手県からの避難、避難先での避難者や市民との交流について

講師：さんりくのつながりHAMANASU会（武田氏）

○第5回

日時：2019年11月14日（木）9時30分～10時30分

内容：復興支援員について

講師：JOCA（當間氏、渡辺氏）、浪江町復興支援員（亀田氏、石澤氏、中嶋氏）
富岡町復興支援員（林氏、中野氏）

○第6回 ※東京青年司法書士協議会と共催実施

日時：2019年12月9日（木）18時00分～20時00分

内容：ADR（裁判外紛争解決手続）について

講師：福島県司法書士会（司法書士 倉茂氏）

（８）ネットワーク作り

①避難当事者団体とのバディ制の実施

連絡会の参加団体の中で、各々の避難当事者団体を担当するバディ制を実施した。

バディ担当者は、当事者団体の活動状況の把握とともに各種助成金の紹介やさまざまな支援の申し出の調整を行った。

②都内支援団体の情報収集

今後の避難者への関わりを検討するため、都内の支援団体（行政や民間団体）の情報収集を行った（JCN より地域巡回員活動を受託）。

③全国・他県の支援団体とのネットワーク強化

他地域の情報収集やネットワーク強化のため、全国レベルでのミーティングや近隣県で開催される情報交換の場に参加した。

以上